

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 平成17年度(昭和38年度)
大項目: 基本目標
中項目: 基本施策
小項目: 施策
事務事業名: 05 簡易給水施設管理運営事業

事業の目的
対象(誰・何に対して): 吉永町内の簡易給水施設利用者(八塔寺、榎、和意谷、大藤上、大藤下、牛中地区)
目的(何のために): 対象地域の飲料水の衛生的かつ安定的供給を効率よく行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか): 水質基準に適合した安全な水を市民へ供給する。

事業の実績
細事業名: 簡易給水施設管理運営事業
事業の説明: 定期的な水質検査及び施設の点検と異常時の速やかな対応により安全安心な飲料水の供給を行う。

事業費等
直接事業費: 5,514
必要人員(人件費): 0.14人
事業費計: 6,796
国県支出金: 2,012
受益者負担金: 1,977
繰入金: 1,751
その他(一般財源): 4,784
受益者負担比率: 29.6%

事業の成果
成果指標名: 事業費に対する料金収入の割合
年度: 平成19年度, 平成20年度, 平成21年度, 平成22年度目標値
目標値(A): 20
実績値(B): 29.6, 18.5, 19.8
達成率(B/A): 148.00%, 92.50%, 99.00%

事務事業の評価
市関与の妥当性の評価: 妥当性
市民ニーズ: 必要
効率性の評価: コスト
有効性の評価: 目的達成度
市民参画度

進行年度(H22年度)の改革改善内容
状況: 現状継続
説明: 前年と同様、コスト削減に配慮しながら、安全な飲料水の安定供給に勤めている。

総合評価
評価区分: A
理由: 安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に欠かすことのできないものであり、コスト削減に勤めながら、今後も継続の必要がある。

平成23年度の方針性及び取組目標
方向性: 現状継続
取組目標: 現在の給水エリアを確保しながら、近接施設を統合することにより管理経費の削減を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意したいのが、その数値目標である。数値目標を行っている成果指標に

